

No	上限枠	応募回数	団体名	団体所在地	事業名	実施市町村	参加人数	内容	実施日	活動写真
1	70万上限	1 3	(社)西土佐環境・文化センター 四万十楽舎	四万十市	森川海人 つながり再発見!	大月町 四万十市 津野町 四万十市	79名	海・川・森・自然の楽しさ、おもしろさを知り、興味をもつ。また、その恵みを生活に活かすなど先人の知恵を学ぶ。 シユノーケリング体験、生きもの探し、お話 仕掛け漁体験、水生生物採集、川の栄養、生きものの話 四万十の源流点を目指しながらアニマルトレッキング 自然の恵みを活かした郷土食づくりや物づくり	8月27日(日) 9月17日(土) 11月26日(土) 12月3日(土)	
2		1 2	物部川21世紀の森と水の会	香南市	物部川の水づくり みんなで協働の森をつくろう	香美市	47名	物部川源流の別府山国有林にて、"森と水の循環系"を取り戻すため、シカ防護ネットを設置する。 事前にルート選定、踏査(測量)したコースを抜開し、ネットを張りやすいよう整地する。 シカ防護ネットを張る。	11月9日(水) 11月10日(木) 11月19日(土)	
3	50万上限	1 初	特定非営利活動法人環境の杜こうち	高知市	学校移動博物館 「豊かな森の住人たち」	北川村 本山町 梼原町	1100名	生物多様性が高い森林の保存方策を呼びかけるために、剣山山系ならびに石鎚山山系で生息が確認された野生鳥獣の標本や写真を展示、紹介する移動博物館を県内3つの中学校、3つの大学キャンパスで開催する。	9月~1月のうち 1~2週間(6回) 工科大10/15~31 高知大11/3	
4		2 4	特定非営利活動法人 土佐の森・救援隊	いの町	「森薪宅配で高齢者 に笑顔を!」	仁淀川町 いの町 本山町	33名	仁淀川上流域及び吉野川流域を対象に薪宅配エリアを広げ、調理、風呂用に薪を使用している中山間集落地の高齢者世帯に薪の宅配を実践する。高齢者福祉と温暖化対策につながる森エネルギー促進薪宅配事業を展開し、薪宅配事業を地域のソーシャルビジネスのしくみづくりをし、薪の活用やまちづくりへの知恵などを学ぶミニフォーラムを開催します。	8月1日~ 11月31日	
5		1 2	佐喜浜の原木を育てる会	室戸市	歴史街道散策&森林 体感ツアー	室戸市	43名	地元に残る歴史的財産、野根山街道を歩くとともに、自然の財産である段山の杉の巨木群の見学、名札付けを行う。講師には地元の林野庁職員や樹木医を迎え、森林と環境についても学ぶ場とする。	10月22日(土)	
6		1 初	吉良川地区教育を進める会	室戸市	木の遊具づくり	室戸市	87名	吉良川地区の山の杉を森林組合が切り出し、吉良川小児童らにが皮はぎを行い、製作する遊具(シーソー・平均台)のデザインも行う。このデザインを基に地域の大工組合が加工し、設置を主催団体・吉良川小PTA・地域住民らが行う。全校児童には森林組合長から木や山の話をしてもらい、設置した遊具は、学校開放をし、未就学児童の親子や卒業した子どもたちも遊べるようにする。	皮はぎ9月27日(火) 遊具作り未定	
7		1 4	奈半利町郷分生産森林組合	奈半利町	奈半利山の日	奈半利町	24名	間伐・枝打ち・広葉樹植林等を通じて、郷分生産森林組合と子どもたちと地域住民の交流を実施し、森や山を育てる重要性を認識する	11月8日(火)	
8		2 初	魚梁瀬山の案内人 クラブ	馬路村	魚梁瀬で知ろう楽し もう 夏休みわくわく自然 体験記	馬路村		県木の魚梁瀬を知り、理解を深めると共に、山の役割を知り、自然に触れ合うことで山や森を好きになり、大切にする心を育てる。県内の親子に1泊2日で千本山付近で間伐、登山し、木工教室で木に親しんでもらい、魚梁瀬杉の歴史や文化についてビデオや林鉄乗車で学習してもらう。	中止	
9		1 初	なんの木会	香南市	樹木の学習の場づくり	香美市 香南市	39名	2つの各フィールドを踏査し、環境条件等を加味した名札かけ候補(樹種・地点)や将来的なグリーンアドベンチャーコースの設定を目標にした樹木リストの素案づくり 平成21年度に整備したグリーンアドベンチャーコースで親子を対象にした樹木学習教室の開催、定期的管理作業、植栽を行う	10月15日(土) 未定	
10		1 5	情報交流館ネットワーク	香美市	こうち山の日普及啓 発イベント	香美市	1000名	高知県森林総合センターの敷地を利用し、情報交流館ネットワークの会員・賛同団体とともに、各種木工教室や森づくり・自然体験教室・森の音楽会・環境啓発パネル展等の遊び・学び・癒しの場を提供する。	11月27日(日)	
11		1 初	アサギマダラの里in秋葉山	香美市	アサギマダラから学 ぶ 豊かな森と命の大切 さ	香美市 香南市	67名	秋葉山一帯において小4以上の親子を対象に広く呼びかけ、アサギマダラのマーキングと観察会を行う。 アサギマダラが飛来するように、高知市近郊に自生していたフジバカラの苗の挿し木増殖、植栽を行い、同時に観察地の造成、森林整備を行う。 「 」に参加した子ども達を主体として、マーキングと観察会を行い、移動結果と生態調査のまとめを作成する。	10月16日(日)	
12		2 初	森の元気!お助け隊	香美市	「間伐材で親子木工 クラフト教室」と 「焼き芋体験」	高知市	31名	森林率1位の高知県の森から当隊員が間伐や除伐してきた木を使って親子で創造し協力して作品に仕上げる。森の役割や間伐の大切さを親子で学習し、話し合うきっかけを提供する。焼き芋をすることによって火の力、また、昔から活用してきた里山の重要性(環境、木の利用、灰、種の多様性)を理解していただく。	12月4日(日)	
13		1 3	甫喜ヶ峰森林公園 ネイチャーゲームの会	高知市	ネイチャーゲーム自 然塾 「竹」全5回シリ ーズ	香美市	60名	森の中で五感を使って自然体験活動(ネイチャーゲーム)の実施、竹の食器づくり、テント張りや森の中でゆっくり過ごす。活動で感じたことを分かち合い、思い出を閉じこめる。	8月28日(日) 9月3日(日) 10月30日(日) 11月20日(日) 12月18~25日(日)	

No	上限枠 応募回数	過去の事業回数	団体名	団体所在地	事業名	実施市町村	参加人数	内容	実施日	活動写真
14		1 5	社団法人高知県山林協会	高知市	森であそぼう！思いで作ろう！	香美市	23名	障害をもつ子どもたちとその家族に、ゆっくりと森であるこの楽しさを知ってもらう。午前は、花木の森での散策とスタンプラリー。昼食はピザづくりを体験し、午後は、公園の落ち葉などを拾って貼りつける思い出の本づくりを行う。	10月23日(日)	
15		1 3	子育て支援の輪 ムッターシューレ	高知市	大地からの贈り物 パート あそびにおいてようぐるすの森へ！	高知市	150名	朝倉地区の複合型施設「うぐるすの森」で、テナントが一堂に集まり、自然についての話やクラフト教室、紙芝居、クイズラリーなど、自然の大切さを知るイベントを開催する。	10月2日(日)	
16		1 2	高知県木材普及推進協会	高知市	木の力・医療施設にもっと木をパネルディスカッション	高知市	90名	森を歩くことで森林のもたらすリラックス効果を感じ、また県産木材を使った建築物を見学し、木がもたらす力を感じる。1回目は天狗高原セラビーロード、2回目は安田町の森林鉄道軌道跡を歩く。	11月6日(日)	
17		1 2	高知県木材普及推進協会	高知市	森の恵み 木の力を感じるバスツアー	安田町 津野町	51名	高知と徳島にある木の医療施設を紹介し、職員や建築家による施設自慢を行ってもらい、職員、患者、来場者からによるトークセッションもを行い、木に癒され、健康を取り戻している効果を伝える。	8月28日(日) 9月35日(日)	
18		2 2	障害者の生活と権利を守る高知県連絡協議会	高知市	障害者とのボランティアの森林活動のつどい	香美市	25名	森林浴など森林で活動する機会の少ない障害をもつ者が、ボランティアとともに自然体験（森林散策・木挽体験等）をすることで障害者への関心を深めるとともに、環境や森林に対する県民の理解を深める。実際に障害をもつ者と野外活動をしてサポートの仕方と森林活動に必要な知識等を習得する。	11月3日(祝)	
19	20万上限	2 2	アジロ山の自然と環境を守る会	高知市	アジロ自然の森 「自然体験学習」事業	高知市	45名	高知市が一望できる「アジロ自然の森」は、由緒ある山であり、樹木も70種類以上自生する豊かな自然があります。その中で樹木を観察し、名前を調べ、名札に書いて樹木に掛けることにより、森への関心を深め合い、今、緑の山を残していく事の大切さを肌で感じ合う事を目的とした内容です。	10月15日(土)	
20		1 4	高知県キャンプ協会	いの町	久木の森風景林 自然体感森林教室	四万十町	32名	久木の森風景林を訪ね、混合林の効用について考察し、木々の解説、森の働きについて話を聞き、森林生態について理解を深める。イロハモミジ、ヤマザクラの植樹を行い、森の育成に参加する。地域の人々と交流する。	11月13日(日)	
21		1 初	によど川森林救援隊	いの町	山のくらし体験ツアー	いの町	26名	森林資源に接したり、山に暮らす人の生き方を聞くことによって、山林の資源や山間地域の生活の価値を見直す意識を作りだし、交流人口を増やす取組につなげる（親子による間伐体験・県林業職員からの話・野外炊さん・ソバ打ち体験など）。	11月12日(土)	
22		1 5	立川体験交流の会	大豊町	奥工石山水の生まれる プナ林で森林浴 立川川源流域で植物体験	大豊町	29名	自然の懐の深さを知ってもらう森と親しむイベントを開催。吉野川水系の立川川源流域にある巨大ブナ林の散策、植物観察を行う。また、紙芝居「一滴の水の旅の話」の上演後、希望によって奥工石山山頂への登山も行う（登山を希望しない場合は、登山口にある山荘で地元産クロモジを使ったマイ箸づくり）。	10月22日(土)	
23		4 初	財団法人仁淀川町ふるさと体験センター	仁淀川町	「自然と文化に親しむ」山里の暮らし体感ツアー	仁淀川町	15名	都市部に暮らす人たちと奥山里の自然の文化の中で文化を育み暮らす人との交流を図り、長年守られてきた生物多様性の豊かな鎮守の森を体感し、環境保全の大切さについて考える。鎮守の森や明神山周辺の紅葉時期に地元の植物観察ガイドの方と散策し、名川盤門神楽の練習の見学、一部練習参加し歴史や舞の特徴などを教えてもらう。山里の田舎料理教室や野外体験、山村留学体験をしてもらう。	10月22日(土) ~23日(日)	
24		4 初	財団法人仁淀川町ふるさと体験センター	仁淀川町	「間伐材を炭に替えて」山里の森を守る体感ツアー	仁淀川町	12名	池川自然学園で活用されていた炭窯を復活させ、捨て間伐のスギ・ヒノキを炭として活用し、豊かな森を再生する活動を参考の手立てとする。 間伐体験・炭窯作成のプロセスを体験・子どもの野外体験活動・山村留学生活体験	11月5日(土) ~6日(日)	
25		4 初	財団法人仁淀川町ふるさと体験センター	仁淀川町	「秋葉まつりの舞台裏をめぐる」山里の文化体感ツアー	仁淀川町		土佐三大祭のひとつ秋葉まつりの舞台裏を見学、伝統文化の奥深さを体感してもらう。併せて、別枝地区的見学・体験、山里の田舎料理教室、野外体験活動、山村留学生活体験	中止	
26		1 初	移住定住支援センター 育らすさき	須崎市	自然と暮らすさき～須崎の自然、再発見！～事業	須崎市	46名	新莊川の話（山と川、環境と生態系）、川にすむ生きもの探し、河原で夕食、川の映画館（環境に関する映画を予定） 浦ノ内湾・横波半島の話（生きもの・地形）、シーカヤックでの自然観察ツーリング 地域住民が整備している山へのハイキング、木や生きものの山の整備の話、山川海のつながりの話など	8月27日(日) 9月23日(祝) 11月5日(土)	

No	上限枚	応募回数	団体名	団体所在地	事業名	実施市町村	参加人数	内容	実施日	活動写真
27	2 初	須崎市	くすの木の精霊キャラクター募集＆体験イベント 「海の幸だけじゃないぜよ！おらんくのざまあな大木みていいや！」	須崎市	252名	天然記念物である大谷のくすの木の精霊キャラクターを公募し発表イベントをする事によって大谷のくすの木を世間に知ってもらいたい。プログラムで発表した精霊キャラクターやフェイスペイントなどで動物に扮した参加者が地場産料理の試食を通して自然（山森）に親しむ。くすの木の保護を通じて山や森のすばらしさ、力強さをアピールし、須崎市南地区全体を広く知ってもらう。	11月27日(日)			
28		須崎市	海の待ちイス・木のおうちで「マイ箸」をつくろう	須崎市	20名	浦ノ内を走る巡航船待ちの小学生やお年寄りのための長椅子を作り、多目的ホールにて山林伐採の必要性や間伐材などについてビデオや森林組合の方からのお話で学習し、間伐材で毎日使用する「お箸」を作ることにより、普段触れることがない木のぬくもり、木のやしさにふれ、自然にい触れてもらう。また、昼食を作り、自分で作ったお箸で食事する。	11月29日(日)			
29		津野町	第8回 ふなと四万十源流 ウォーキング	津野町	138名	船戸地区「せいらんの里」から四万十川源流点までの往復9kmをウォーキングする。地域食材の昼食後、地元の伝統文化を鑑賞し、地域住民とふれあう。今回は、前泊者を対象に、山村宿泊体験メニュー（木工細工・竹飯夕食づくりなど）で交流も図る。	11月12日(土) ～13日(日)			
30		黒潮町	間伐材で作ろう！身近な道具	黒潮町	97名	土佐ヒノキの間伐材や雑木を使って、日常使う身近な道具（ボールペン、ストラップ、箸など）を作り、それを通じて、森林の重要性や間伐の大切さを伝える。	8月4日(木) 9月1日(日) 10月9日(日) 11月11日(金)			
31		四万十市	感動体験！奥四万十	四万十市		四万十川を清流のまま未来へ引き継ぐため、栗を植えて森林や山を守る。その活動や四万十流域での体験交流（山歩き、火振り漁見学、星空観測、川歩き、栗拾い、栗植樹）を通じて、森林や山が日本最後の清流を守り育てていることを学ぶ、あわせて都市と山村の継続的な交流を促進することを目的とし、そのきっかけとなる体験交流ツアーを実施する。	中止			
32		三原村	子供たちよ、木の温もりを、森林の状況を学ぼう。	三原村	18名	森林組合で用意した間伐材を利用して、現在あるツリーハウスの補強を行う。また、地域の人たちが学校に来たときに休憩してもらうためのイスを子ども達も参加して製作する。	7月20日(水) 11月11日(金)			
33		三原村	クリスマスを楽しもう！	三原村	27名	森林に関する環境教育、森の中でのリース材料探し、およびクリスマスリースづくり体験の実施。	11月27日(日)			
34		三原村	大月町・三原村牧野富太郎の道を歩くナビ推進協議会 三原支部	三原村	33名	総面積の87%を占める三原村の山地に存在する森林資源をイベントを通じて伝え、守り、活かす事を目的とする。ヒメシャラの巨木をはじめ、希少な樹木が育成する山林資源の宝庫であり、牧野博士が植物採集に歩いた記録も残っている山を、観光スポットとして磨き、訪れた方に山の現状や重要性あるいはそこに棲む生物の生態など、森林について総合的な学習の場の提供と地域のPRを行う。	11月19日(土)			